資料8－1

情報通信審議会情報通信技術分科会
IPネットワーク設備委員会
技術検討作業班　検討状況報告

－　0AB~J番号を使用するIP電話の基本的事項以外の
IP電話、新たなサービス等に関して　－

経過報告

平成19年9月11日

技術検討作業班の審議経過

○第10回　技術検討作業班（H19.4.2）
- IPネットワーク設備委員会の審議経緯について
- 0AB~J番号を使用するIP電話の基本的事項に関する技術的条件以外の主な課題と論点について

【各構成員に対して各課題における検討項目・論点についてアンケート】

○第6回　IPネットワーク設備委員会（H19.4.17）
- 安全・信頼性検討作業班におけるこれまでの審議を取りまとめた報告を受け、委員会報告（案）について審議を行った。
- 技術検討作業班の審議経過報告を行った。

○第11回　技術検討作業班（H19.4.26）
- 「主な検討課題（案）に対するアンケート」についての意見を踏まえ、今後の主な課題と論点について審議
- 次世代IPネットワーク推進フォーラムについて

○第7回　IPネットワーク設備委員会（H19.5.23）
- 安全・信頼性検討作業班の報告に関する意見募集の結果を踏まえ、委員会報告及び一部答申（案）を取りまとめた。

○第12回　技術検討作業班（H19.5.29）
- 検討項目の抽出等について

【次世代IPネットワーク推進フォーラム　技術基準検討WG及び各SWGからの検討状況報告】

○第13回　技術検討作業班（H19.6.27）
- ネットワークのIP化に係る動向等について

○第14回　技術検討作業班（H19.8.8）
- 検討項目の抽出と方向性について

【次世代IPネットワーク推進フォーラム　技術基準検討WG及び各SWGからの検討状況報告】

次世代IPネットワーク推進フォーラムと連携

技術検討作業班の検討経過について

技術検討作業班では、本年１月の0AB~J番号を使用するIP電話の基本的事項に関する技術的条件の答申後、第10～14回会合を開催して、当面の検討課題と論点等について検討を行っているところである。主な検討概要は以下のとおり。

１．当面の検討課題

IPネットワーク設備委員会報告（平成19年１月 「第７章 今後の検討課題等」）から以下のとおり。

◆IP電話に関する課題
◆コンテンツ配信サービスに関する課題
◆迷惑メール抑止手段に関する課題（※）
◆固定・移動シームレスサービスに関する課題
◆重要通信・緊急通報の新たな確保方法に関する課題（※）
◆端末・ネットワークとの接続に関する課題

※の項目については、第11回 技術検討作業班（H19.4.26）において、今後の社会的な動向やその他の取組状況に応じて検討を行うこととした。

２．検討の基本的進め方

◆内外の動向や重要度、緊急性等を勘案しつつ、要求条件や具体的な検討項目の抽出、内容の検討を実施。
◆検討においては、技術設備面を中心に、必要に応じて関連する管理運用面等の課題を抽出し、それらについて、技術基準の在り方・技術的条件を中心にして標準化等の必要性も含めて検討。また、課題を解決すべき時期等の時間的要素も考慮。

３．検討の体制

◆引き続き、次世代IPネットワーク推進フォーラム　技術基準検討WGと連携して検討を進める。

４．今後の予定

◆本年末を目途にとりまとめを予定。

IPネットワーク設備委員会作業班活動状況報告

第10～14回会合において、0AB~J番号を使用するIP電話の基本的事項以外のIP電話、新たなサービス等に関し、○**IP電話**、○**コンテンツ配信サービス**、○**固定・移動シームレスサービス**、○**端末・ネットワークとの接続**について、ネットワークのIP化に伴う技術的課題及び論点を集約

ネットワークのIP化に伴う技術的課題及び検討の方向性（主な項目の概要）

IP電話

○エンドエンドの品質・機能の確保

・輻輳対策、通信規制対応

網の安定性を確保するため、輻輳対策の必要性、技術条件とすべき項目、事業者の責任に委ねる項目、についてそれぞれ検討。

・エンドエンドの品質指標（端末ー端末間）

高品質（広帯域）IP電話、テレビ電話について検討。

・品質配分

050番号のIP電話については、その位置づけや多様性を考慮し、0AB-J番号IP電話の整理を参考に、通信事業者として満足すべき品質配分規定のあり方や技術条件に関して検討。

○網・端末及び網間相互接続

実装必須コーディック（G.711μ law等）、輻輳時等の端末と網の機能分担等について検討　等

コンテンツ配信サービス

○基本検討モデルの明確化

配信機能モデルの明確化、対象コンテンツ、利用コーデック／利用帯域、制御プロトコルなど、基本検討モデルの論点の整理、補強を行った上で、各論点に対しての議論を行い当面の課題検討に向けた前提条件についての考え方を整理。

○品質条件のあり方および輻輳等への対応

品質条件、品質制御（接続遅延、伝送路切り替え、計画停止等含む）について検討。当面の課題検討としては、次世代IPネットワークの特徴的な課題の一つである品質条件関連から検討を進める。

○セキュリティの確保など

セキュリティ条件、管理・運用面の課題として抽出

等

固定・移動シームレスサービス

○サービスのモデル化

サービスイメージの明確化のため、サービスの分類、通信形態、番号の使い方、使用するアクセス網の種別等について検討。

○機能要件（サービス実行に向けた要件、既存技術基準・標準の過不足等）

使用するアクセス網の種別、サービスプロバイダとのインタフェース、着信網が自動選択された場合の番号表示等について検討

○品質要件

メディアの種類について検討。アクセス網により適用するコーデックが異なる場合に、変換等による品質への影響について議論。

○アクセス網切替に伴う品質・性能上の課題

通信中にアクセス手段が変わりうる通信における、通信品質確保について、使用するアクセス網の種別、アクセス網をまたがるモビリティ等を検討

等

端末・ネットワークとの接続

○端末網の品質基準の在り方

端末側の品質配分や機能分担に関して、多様なベンダの機器を利用できるような環境整備を検討。また、関連する標準化の動向を整理。

○端末とネットワークの接続条件、相互接続性

キャリアに依存しない接続パラメータや認証方法の整備について必要か否かを含めて議論。また、責任分界点の切り分け方法について検討。

○安全性の確保

ネットワーク及び端末の正常動作保護の観点で、サービス妨害攻撃防御機能、なりすまし防止機能、プライバシー保護機能として整備が必要か否かを含めて議論。

○利便性の向上

端末と次世代IPネットワークの相互発展シナリオについて、今後必要となることが想定される項目を抽出して、関連する標準化の動向を整理。

等